

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：4年 12月 28日

事業所名：児童発達支援放課後等デイサービスSORATO (UMIE)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室は基準の2倍以上のスペースを確保している。指導訓練室とは別に約70㎡のプレイルームも完備	・はい:19名 ・分からない:1名 広いプレイルームもあり、十分だと思います	プレイルームを使用する事で学びと遊びのメリハリが付きやすくていく。 遊びだけではなく、有効活用できるように検討中
	2 職員の適切な配置	最低人員に加え、加配の職員を2名配置	・はい:15名 ・どちらでもない:1名 ・分からない:4名 子供の特性についても、知識や経験が豊富 行かせてもらっている曜日に子供が何名いるのか、まだわかっていないので...	今後も、現状維持に努め、職員のスキルアップを図るよう努める
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内は全面バリアフリーである。トイレや個別訓練室にはロールスクリーンを設置しお子様の特性に合わせて随時対応。	・はい:17名 ・どちらでもない:1名 ・分からない:2名 分かりやすく使いやすい配置になるように、考えられていると思います	現状維持に加え今後もお子様の状況に応じ、施策が必要であれば対応を検討する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	支援中には常時換気を行うと共に加湿も行っている。支援終了後には清掃、消毒を行っている	・はい:19名 ・分からない:1名 清潔で整った環境で、子どもたちは安心して過ごせると思います	現状維持に加え、安心して通所して頂けるよう環境整備を行う
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々、朝礼後には打ち合わせの時間を設定している。非常勤職員に関しては出勤後に打ち合わせの内容を伝えている		全員参加できない場合などは、時間ずらすことや、個別に伝達出来るように努めています。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		今後、実施できるように検討を行う
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	連携している言語聴覚士より、月に1回以上の教材の使用例や療育のレクチャー指導の実施を行っている		今後もスキルアップの為、研修に積極的に参加していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者記入の相談受付表、聞き取った内容、相談員からの計画書を参考に事業所のコンセプトに沿った計画書の作成をしている	・はい:17名 ・どちらともいえない:2名 ・分からない:1名 ・困り事や今後の課題について、しっかりと考えられ作成されている ・本人の事についてとても良いアドバイスをいただいたり、相談にのっていただいておりますが、文書 や計画の説明という部分では、弱い気がします。でも本当に安心して本人をみていただいていると思ってます。 ・具体的な支援方法が考えられて、提案していただいています。	今後も傾聴を意識して保護者のニーズと事業所のコンセプトに沿った計画の作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	事業所のコンセプトに沿った、個々の状況に応じた内容が行えるように作成している		子供の状況に柔軟に対応できる様に努める
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	日々の記録や、保護者からのニーズ、言語聴覚士のアドバイスを基に、作成している		具体的、且つわかりやすい内容にて記載するように努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	内容を把握し、個々に合う活動内容を日々、職員間で確認しながら行っている	・はい:18名 ・分からない:2名 ・子供の気持ちによりそい、無理なく支援頂いていると思います	内容に沿った支援の中でも日々の変化に柔軟に応じ、ていけるように努める
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	年間・月間・週間とで活動内容を立案し、日々の活動の内容を確認している	・はい:3名 ・いいえ:3名 ・分からない:14名	年間を通してメリハリのある「チャレンジ」を盛り込み、スモールステップを心掛けた内容に努める
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	事前に大まかな内容は決めているが、当日の人数や状況に応じて臨機応変に対応している	・困り事や今後の課題などについて、しっかりと考えられ作成されていると思います ・本人の事についてとても良いアドバイスをいただいたり、相談にのっていただいています。文書や計画の説明という部分では、弱い気がします。でも本当に安心して本人をみていただいていると思っています	今後も現状維持に努める
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ活動でも違う教材を使用したり、指導する職員を変更したりと変化をもたらし固定化を防いでいる	・具体的な支援方法が考えられて、提案していただいています	ST-ARTプログラムを参考に、様々な角度から取り組めるように、個々に沿った学びを提供できるよう努める
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼後の打ち合わせによって当日の活動内容の確認を行い、各々の動きを共有している		状況に応じて前日に確認を行う事も実行していく
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後の連絡帳入力の際、業務終了後の時間を利用して当日の様子などの情報共有を行う		状況に応じて翌日の朝礼後に行う
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	施設で利用しているソフトを利用して日々の記録をしている。改善すべき点は日々の報告の中にて検討している		今後も現状維持に努める
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	送迎時やご希望のあるご家庭では家庭訪問を行い情報収集をし、日々の困り事も聞き計画の見直しを行っている		今後も現状維持に努める	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	開催時間・状況によっては児発管に加え、直接支援業務をしている職員にも参加してもらっている	今後も現状維持に努める	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校への送迎時または保護者を通じて適宜情報共有を図っている	今後も現状維持に努める	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	当事業所の対象児童を小学校3年生までとしている為該当するケースがなかった	他事業所への移行の際には必要に応じ、連携を行う	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	個々の連携対応に於いて行政機関や各事業所等の連携を行っている。更に言語聴覚士等との連携を図り研修も行っている	社内研修及び外部研修も積極的に参加するよう努める	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	幼稚園・保育園等との交流はしていない。また、外出もコンセプト上、実施していないことから、障がいのない児童と活動する機会がない	・はい:3名 ・いいえ:3名 ・分からない:14名 ・現在のコロナ禍では難しいと思います まだよく分かりません	今後、検討の可能性もあり得る
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の児童館など要望に応じ対応等、実施している		要望に応じ検討する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・はい: 20名 ・丁寧に説明頂きました ・メールで詳しく教えて頂いています 	現状維持につとめ、必要に応じてその都度個別の対応も行う
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・はい: 18名 ・どちらともいえない: 1名 ・分からない: 1名 ・計画書を見ながら説明頂きました 	今後も、コロナの状況を見ながら、場所や時間を調整し、状況に応じた丁寧な説明を行う
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 希望のある家庭に関しては、家庭連携などを実施し、相談援助を実施している。また、言語聴覚士からアドバイスを受ける方法も提供し、保護者目線に合わせ対応を行っている ・はい: 8名 ・どちらともいえない: 3名 ・いいえ: 2名 ・分からない: 6名 ・現在のコロナ禍では難しい状況ですが、意見交換会や個別の相談等、可能な範囲で対応して頂いています ・通所時間が短いため、分かりません 	今後も現状維持に努める
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳若しくは、送迎時等を利用し日々の様子をお伝えして、保護者と情報共有を図るなど、支援内容の理解を深めている。また、事業所から依頼して、家庭訪問などを通し共有理解を図るため実施している ・はい: 17名 ・どちらともいえない: 2名 ・分からない: 1名 ・連絡帳や送迎時など頑張ったこと、困りごと、いろいろなこととお話し、共有して頂いています 	今後も現状維持に努める
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳若しくは、送迎時等を利用し、保護者からの相談に応じ対応している。必要があれば、家庭訪問等を実施している ・はい: 15名 ・どちらともいえない: 2名 ・分からない: 3名 ・困りごとなど、いつでも相談できる対応をして頂いています ・通所期間が短いため、これからかと思えます。日誌は分かりやすかったです。 	ご意見や、お困り事等のニーズや支援に於いて、必要があれば関係機関と連携を図り、解決に向け協力を行う
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為、少人数制での父母会を実施している ・はい: 4名 ・どちらともいえない: 3名 ・いいえ: 1名 ・分からない: 10名 ・コロナ禍で難しい状況でしたが、今後意見交換会が予定されています 11月に初めて参加する 	ご意見や、お困り事等のニーズを伺う場として、ご要望が多ければ開催を検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 体制については契約時に説明を行い、苦情やご意見があった際には迅速に対応し、職員間で共有し対応について早期解決を行っている ・はい: 15名 ・わからない: 3名 ・保護者からの意見に対して迅速に対応して頂いていると思います 	苦情が生じた場合には、迅速かつ丁寧に解決を行う。また、職員間の情報共有を行い、再発防止に努める
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 児童には個別療育や、集団活動の中で、適切な表現の場面設定等を作り、事前に次の行程が分かる配慮を行っている。保護者へは連絡帳及び送迎時を利用し口頭で話す機会を設けている ・はい: 17名 ・分からない: 1名 ・連絡帳や送迎時、電話等で、保護者とも情報共有して頂いていると思います 	合理的配慮を意識した中で、今後も現状維持に努める
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> 会報の発行はないが、月に一度の言語発達検査などの際にはホームページ・インスタグラムに掲載している。また、連絡帳、送迎時などで情報を提供している ・はい: 14名 ・どちらともいえない: 1名 ・わからない: 3名 ・新しい活動や子供達の様子についてお知らせ頂いています 	現状維持に努め、要望に応じ検討できる体制を作る
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に書面にて説明、同意を頂いている。また、その書類等に関しては鍵付き書庫で保管している ・はい: 18名 	今後も現状維持に努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルの作成・職員間での対応についてのロールプレイング実施。保護者には契約時に説明している	・はい:14名 ・どちらともいえない:1名 ・わからない:3名 ・重要事項説明書に記載している	消防署と連携を行い、実施した機会を踏まえ、地域の最新版の情報共有に努める
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難計画書を元に、年2回の避難訓練の実施	・はい:14名 ・分からない:4名 ・避難訓練を実施されている	今後も定期的な実施に努める
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部研修及び内部研修に参加し職員間で児童虐待について話し合う等、随時意識の共有を図っている		全職員が外部や法人内での研修に加えて、オンライン等の研修に参加していくよう調整を行う
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束の必要性のある児童が現在いない。 今後必要な場合は職員間で検討の後、保護者への説明を行い計画書に記載する		今後、必要なケースが生じた場合は、職員間で検討後、対応を十分吟味したうえで保護者と相談及び説明の上、個別支援計画に基づいた提供を行う
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	見学・契約時にアレルギーについての聞き取りを行って必要項目にも記載してもらっている。アレルギーのある児童には個別にておやつ手配も行っている		今後も現状維持に努める 既に利用されている児童においては、新たなアレルギー項目等の状況変更に応じ、確認を行う
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット発生時には当日のうちに作成・職員間での情報共有・今後の対策等の話し合いを行っている		今後も現状維持に努める